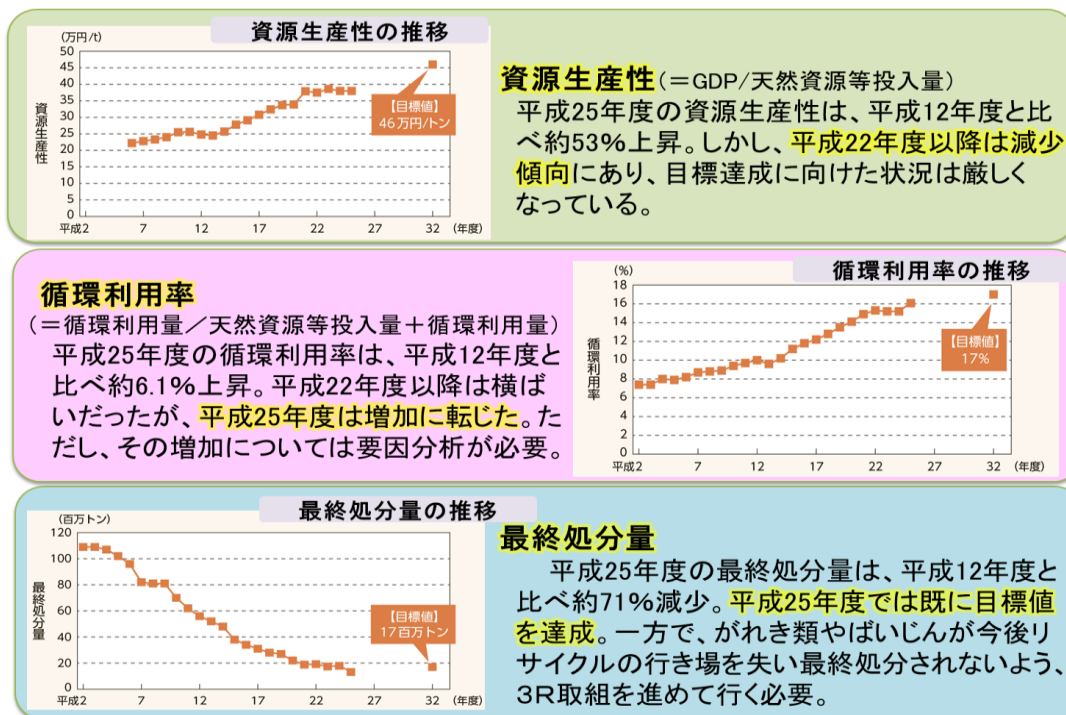


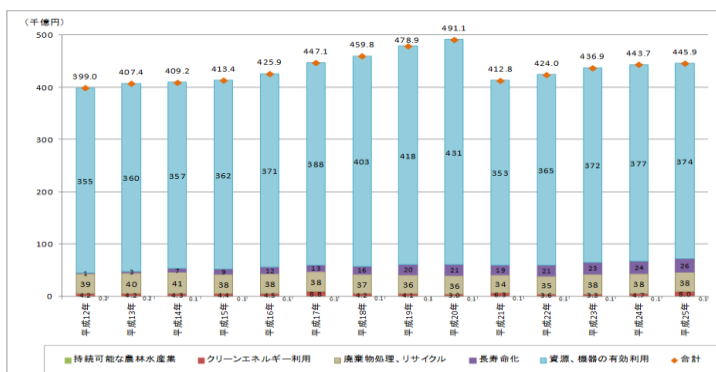
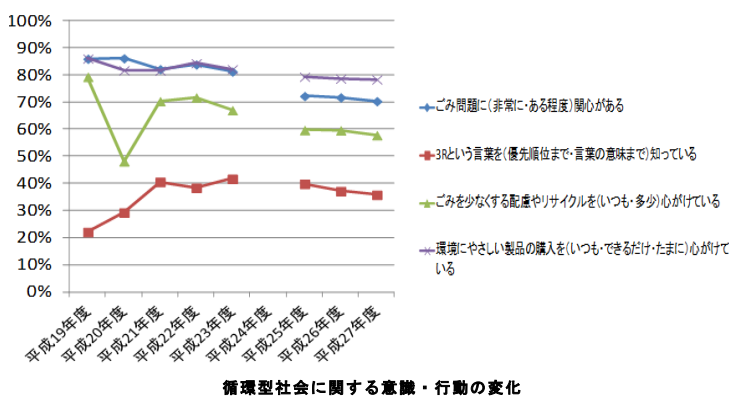
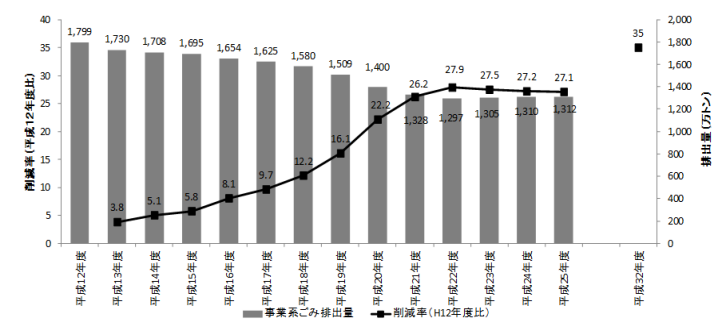
# 第三次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第2回点検結果の概要

## 1. 物質フロー指標（資源生産性、循環利用率、最終処分量）の進捗状況



## 2. 今後の展開の方向（※結論部分）

- 一般廃棄物の減量化は近年横ばい傾向であるため、目標達成に向けて、要因分析を踏まえ、厨芥類削減や食品ロス削減、ごみ有料化の推進等を図る必要。
- 循環型社会に関する意識と行動が減少傾向にあり、行動に至るような効果的な発信、循環資源フローの情報提供、見える化等が必要。
- 循環型社会ビジネスの市場規模については、H12と比べ1.1倍に留まっており、2Rの取組やリサイクルの徹底を進めることが必要。
- 2Rの取組を各主体で推進するため、消費者のライフスタイルの変革、2Rが進む社会経済システムの導入、健全なリユース市場の形成、これらの取組の目標設定等が必要。



出典:「環境産業の市場規模・雇用規模」(毎年(環境省)のうち、循環産業に関わると考えられる部分(※)のみを抽出・合算)

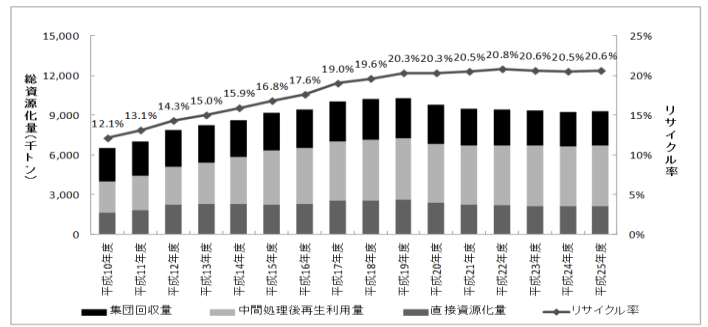
○リサイクルの徹底に向け、一般廃棄物で単純焼却されていた紙類・厨芥類・プラスチック類等の再生利用の推進や家電製品等の回収体制の構築が必要。産業廃棄物は、今後、再生材の新規用途への利用促進や地域間での需給調整のための対策が必要。さらに、資源価格などの社会動向にも配意。

○環境配慮設計、循環資源を原料として用いた製品の需要拡大を図り、製造事業者とリサイクル事業者間での有用金属の含有情報等の共有化に取り組むことが必要。

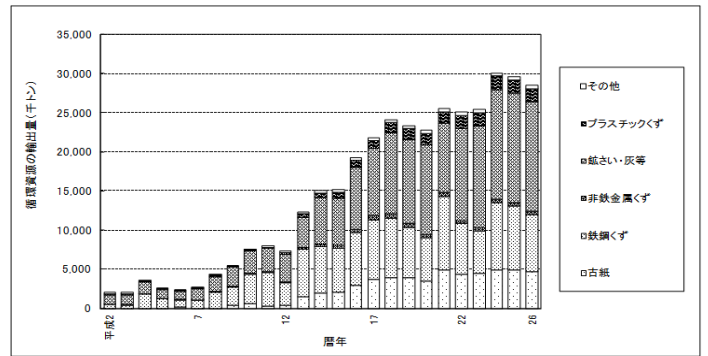
○ノウハウを有する主体をコーディネーター化し、取組やノウハウを共有するプラットフォームにおいて、知見を効率的に統合することが必要。

○有害廃棄物の不法輸出入に対する対策強化、環境負荷低減等に資する循環資源の国際的な移動の円滑化のための輸入手続きの迅速化等が必要。国際的な廃棄物管理の取組に関する情報収集・連携の促進、国際的な資源循環に関する研究を進めることが必要。

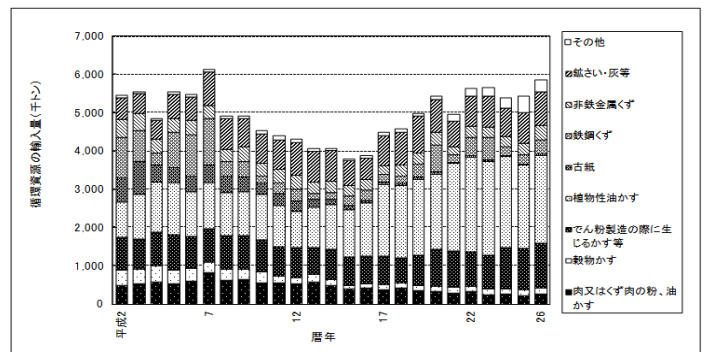
○SDGsの達成に向けた資源生産性の向上や持続可能な消費と生産への取組、天然資源の持続可能な管理及び効率的利用、食品ロスなどの食品廃棄物の削減等を進めることが必要。



一般廃棄物リサイクル率



循環資源の輸出量の推移



循環資源の輸入量の推移

ゴール	ターゲット	循環基本計画において関係すると考えられる指標等
ゴール8. 包摂的で持続可能な経済成長、雇用 (Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth, full and decent work for all)	ターゲット8.4 経済成長と環境負荷のデカップリング促進に向け、資源生産性を高める。先進国の主導の下、今後10年のスパンで持続可能な消費と生産について取り組む。 (Improve progressively, through 2030, global resource efficiency in consumption production and endeavor to decouple economic growth from environmental degradation, in accordance with the 10-year framework of programmes for sustainable consumption and production, with developed countries taking the lead)	・資源生産性
ゴール12. 持続可能な消費と生産 (Ensure sustainable consumption and production patterns)	ターゲット12.1 今後10年のスパンで、持続可能な消費と生産について各国が取組を行う。先進国は、途上国の発展や能力を考慮しながら主導していく。 (Implement the 10-year framework of programmes on sustainable consumption and production, all countries taking action, with developed countries taking the lead, taking into account the development and capabilities of developing countries)	・循環基本計画に基づく取組
	ターゲット12.2 2030年までに、天然資源の持続可能な管理及び効率的利用を達成する。 (By 2030, achieve the sustainable management and efficient use of natural)	・資源生産性
	ターゲット12.3 2030年までに、一人当たりの食品残さを小売又は消費者レベルで半減させ、ポストハーベストロスを含む、生産・流通における食品残さを削減する。 (By 2030, halve per capita global food waste at the retail and consumer levels and reduce food losses along production and supply chains, including post-harvest losses)	・該当なし
	ターゲット12.5 2030年までに、リデュース(予防)・リユース・リサイクルに取り組むことで、廃棄物発生量を持続的に削減する。 (By 2030, sustainably reduce waste generation through prevention, reduction, recycling and reuse)	・循環利用率 ・1人1日当たりのごみ排出量 ・一般廃棄物のリサイクル率 ・リユース関連指標